

5 月度主将会議 議題

2018/05/12

司会：委員長 玉田憲一郎

1. 実施競技の振り返り

[3月泉南月例杯] 甲南女子大学・滋賀大学

大学から始めた選手も出やすい試合になった。引き続き出たい。雰囲気、良い意味で緊張感がなく、気軽にプレーすることができた。

[連盟杯] 大手前大学・大阪学院大学・関西学院大学

グリーンが速く難しいため、良かった。また、女子は会場が変わって変化があり楽しかった。男子の予選では、NW,WE の予選カットスコアで差が出たため、学連側で同じ程度のカットスコアになるように難易度の調整などをできる範囲でしてほしい。

=関西学生予選では、以上の意見を踏まえて調整をしていきたい（ティー位置も変更するため）

[男子3・4部校学校対抗戦] 京都大学・滋賀県立大学

プレイング4を使用可能という表現がありわかりにくかった。ティーショットがOBの場合などもう少し要項を詳しくして欲しかった。

エントリーフィーが2重にかかるため負担が増えたという意見

=多数決で3・4部校から2部校に出場する際は、次回から差額の2万円を支払えば

良いということに決定

3部と4部で実力の差があり、プレー時間が遅かった。ドローを工夫してほしい

=ドローの組み方を次回は順位順にすると多数決で決定

6月の対抗戦で実施させていただいて、その結果を次回の主将会議でフィードバック

することで決定

[女子2部校学校対抗戦] 関西大学・大阪産業大学

スムーズに進行した。

[男子2部校学校対抗戦] 同志社大学・流通科学大学

スムーズに進行した。今後もこの形式でいきたい

[4月月例杯] 京都産業大学・芦屋大学

学連員のスタート準備がギリギリであるにもかかわらず注意をする姿があった

=全体的にドロー発表をもう少し早くお願いしたいと言われた。

商品などの品も多く、やる気につながった

2. 連盟杯でのクレームを踏まえて改善点（特にスロープレー）

タイムパーを採用する。各大学プライベートでも部活のラウンドでも常に2時間10

分以内に回れるように意識すること。超えた場合はペナルティーを科していくので次戦までに改善。また、ゴルフ場の人やお客様にもっと挨拶をすることを心がけると。

大切な点は、挨拶・プレースピード 常に、人に見られており、学校の看板を背負っている意識でいるよう心がけるように。

3. 喫煙問題の報告

試合中に喫煙を行い、6ヶ月間出場停止になる事例があった。今後、全面禁煙に対して厳しくしていくので、もう1回各大学徹底すること。要するに、見られたら終わりということ。

4. パナソニックオープンゴルフチャンピオンシップ報告と今後について

大変話題性があり、引き続き連盟杯に関して男女共にトーナメントの出場資格を誘致していく方向性に対して多数決を実施

=全員一致で引き続き関西学連の魅力として試合の出場権を誘致していくことにした

5. 男子1部校学校対抗戦の要項説明、注意事項

今年度からの変更事項、練習場ありや監督コーチ2名まで立入り可能などの注意事項

6. 春季新人戦の要項説明、注意事項

新人戦はどの学生でも積極的に出て欲しいということ。

7. 月例杯活性化に向けて要望や案

引き続き活性化していくよう取り組む

8. ゴルフ人口活性化のためにどのようなことができるのか（大学生と小中高の連携）

時間が1時間以上超過していたため、次回に延期

9. 問い合わせのあった院生の加盟について

大学・大学院にかかわらず連盟加盟は4年まで、さらに大学や大学院の規約で同組織

と定義する場合は団体加盟も可能（日本学生ゴルフ連盟に確認済）

10. その他意見

6月後半の日程が超過していること、次年度は改善して欲しい

主将会議のやり方は、このまま続行でいく。

11. 次回の主将会議は< 8月4日土曜日 13時~>

関西学生ゴルフ連盟

<団体加盟校 欠席注意>

大阪学院大学（2回連続欠席）、流通科学大学（欠席）、大阪工業大学（欠席）

兵庫県立大学（欠席連絡あり）

次回欠席の場合、何らかの処置をとります。前以て連絡をしておりますので、出席してください。

その他大学は、多くの主将の方が参加していただきありがとうございました。引き続きどうぞ宜しくおねがいいたします。